

平成 27 年度第 1 回
所沢市青少年問題協議会

会 議 録

平成 2 7 年 5 月 2 7 日

会 議 録

会 議 の 名 称	平成 2 7 年度 第 1 回所沢市青少年問題協議会
開 催 日 時	平成 2 7 年 5 月 2 7 日 (水) 午前 1 0 時から 1 1 時 4 0 分
開 催 場 所	市役所 6 階 6 0 4 会議室
出 席 者 の 氏 名	別添名簿のとおり
欠 席 者 の 氏 名	別添名簿のとおり
説明者の職・氏名	
議 題	(1) 優良青少年及び青少年育成功労者表彰について (非公開) (2) 情報交換 ~ 所沢市の青少年の健全育成について ~ (公開) (3) その他 (公開)
会 議 資 料	次第 資料 1 所沢市青少年問題協議会委員名簿 資料 2 所沢市青少年問題協議会長表彰候補一覧表 資料 3 所沢市優良青少年及び青少年健全育成功労表彰規程 資料 4 平成 26 年度 第 1 回青少年問題協議会 委員意見まとめ 資料 5 所沢市青少年問題協議会条例
担 当 部 課 名	こども未来部 及川次長 青少年課 井上課長、三上主査、佐藤主査、宮崎主事 (事務局) こども未来部青少年課 電話 04 (2998) 9103

所沢市青少年問題協議会委員名簿

* 名簿掲載順は設置条例第3条の第4項(1)～(5)号の委員の順になっています。

	役職	氏名	出欠	職名等
1	会長	藤本 正人	出席	市長
2	委員	宮下 幸枝	出席	一般公募
3	〃	大野 礼子	出席	一般公募
4	〃	藤吉 律子	出席	一般公募
5	〃	小暮 香代子	出席	一般公募
6	〃	近藤 沙穂利	出席	一般公募
7	〃	神山 さゆり	出席	一般公募
8	〃	本橋 栄三	出席	所沢市社会福祉協議会会長
9	〃	大原 隆広	欠席	所沢市PTA連合会副会長
10	〃	大塚 教雄	出席	埼玉県立高等学校長(所沢中央高等学校長)
11	〃	田部 真一	出席	所沢市社会教育委員会議長
12	〃	秋葉 義男	出席	所沢市民生委員児童委員連合会会長
13	〃	針生 康二	出席	所沢市子ども会育成会連絡協議会会長
14	〃	須澤 一男	出席	所沢市スポーツ少年団本部長
15	〃	山路 洋子	出席	所沢市連合婦人会会長
16	〃	田中 保三	欠席	所沢地区保護司会所沢三芳支部支部長
17	〃	渡辺 昭子	出席	所沢市青少年育成推進員協議会会長
18	〃	並木 聡美	欠席	所沢市青少年相談員協議会会長
19	〃	青木 照子	出席	所沢地区更生保護女性会会長
20	〃	土屋 由	出席	知識経験者(秋草学園短期大学)
21	〃	民川 隆二	欠席	所沢警察署長
22	〃	広瀬 正幸	出席	所沢児童相談所長
23	〃	内藤 隆行	出席	所沢市教育委員会教育長

様式第 2 号

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>市長から出席した次の委員 18 人に委嘱状を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募委員 宮下幸枝 ・公募委員 大野礼子 ・公募委員 藤吉律子 ・公募委員 小暮香代子 ・公募委員 近藤沙穂利 ・公募委員 神山さゆり ・所沢市社会福祉協議会会長 本橋栄三 ・埼玉県立所沢中央高等学校校長 大塚教雄 ・所沢市社会教育委員会議長 田部真一 ・所沢市民生委員児童委員連合会会長 秋葉義男 ・所沢市子ども会育成会連絡協議会会長 針生康二 ・所沢市スポーツ少年団本部長 須澤一男 ・所沢市連合婦人会会長 山路洋子 ・所沢市青少年育成推進員協議会会長 渡辺昭子 ・所沢地区更生保護女性会会長 青木照子 ・知識経験者（秋草学園短期大学） 土屋由 ・所沢児童相談所所長 広瀬正幸 ・所沢市教育委員会教育長 内藤隆行 <p>会長 藤本正人市長よりあいさつ</p> <p>青少年問題協議会設置条例第 6 条 2 項により会長が議長を務める。</p> <p>本日の議事に入る前に、副会長の選出を行う。本協議会条例第 3 条第 3 項に基づき委員の互選により、須澤委員が副会長を務めることとなる。</p> <p>また、事務局から会議の公開・非公開、会議録、発言者名の標記、署名者についての決定を求め、会議形式については、以下のように決定した。</p> <p>会議の公開は議事（1）は非公開で議事（2）・（3）は公開、会議録は要約方式、発言者名は『委員』で統一、署名者は会長、副会長の 2 名。</p>

議長	<p>(議事に入る)</p> <p>議事 (1) 「所沢市優良青少年及び青少年健全育成成功労表彰について」事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>青少年問題協議会の関係機関及び団体から推薦のあった 3 1 人と 2 団体が表彰規程に合致するか、事務局で精査した結果、問題はなかった。以上の被推薦者を「優良青少年」及び「青少年健全育成成功労者」として表彰候補とする。</p>
議長	<p>意見を求める。事務局案でよろしいか。</p> <p>「異議なし」の発言にて承認</p> <p>傍聴人の確認を行う。</p> <p>傍聴人なしのため、議事を進める。</p>
議長	<p>議事 (2) 意見交換について、事務局から資料の説明を求める。</p>
事務局	<p>平成 2 6 年度第 1 回所沢市青少年問題協議会において「青少年健全育成とは」を議題としたご意見を委員の皆さんよりいただいた。</p> <p>後に「三つ葉の提言」と照らし合わせ、「青少年健全育成の基本的な考え」としてまとめ、平成 2 6 年度第 2 回の本協議会で最終的な検証を行った。</p> <p>このまとめについては資料 4 のとおり「自立」「居場所」「体験」の 3 つの視点によってまとめたものであり、これにより本協議会での理念や方針が定まり、三つ葉の提言での行動目標とリンクされたことになったものである。</p>
議長	<p>事務局より、経緯も含めた資料の説明があった。この後、委員の皆さんより活発な意見を願います。</p>
委員	<p>青少年健全育成において、最終的には家庭が重要になるが、他人はなかなか入り込めない。そこで、地域力というものが大切なこととなり、例えば地域でパトロールを行うなど、それぞれの大人がそれぞれの立場で出来る限り役割を果たすことが大事である。</p> <p>また、子どもを可愛がるのが甘やかすになってしまうことがあり、これにつ</p>

委員	<p>いてはよく注意して接しなければならない。</p> <p>子は宝であり、我々大人が大事にまたしっかりと見守ることで、ダイヤのように輝くものである。</p> <p>最近、高齢化により地域力が低下しているところがある。例えば地域でのまつりなどの開催が危ぶまれるほどで、結果として世代交流の機会が減っている。地域みんなで子育てをしていくことが困難な地域もあるかなと思われる。</p> <p>次に、昨今、SNS問題やアプリなどを通じた情報交換サイトによる対人トラブルに発展することをよく耳にする。対人構築において、現在の子どもは修復する能力なども乏しく、コミュニティが希薄になっていると考える。</p> <p>この問題は、大人が思っている以上にスピーディであり、対応が急務である。</p>
委員	<p>三つ葉の提言は、よくまとまっていると感じる。強いて言えば2点ほど補足したいことがある。</p> <p>まず、1点目として「大人のモデルがない」。子どもの問題は大人がどうするかということをもっと強く出して欲しい。</p> <p>非行の背景として、戦後は「貧困」、次は経済成長による「落ちこぼれ」、そして経済が豊かになり「遊び非行」となり、現在は、大人の良きモデルが無いということである。是非とも大人が良きモデルとなるよう、この提言でも表現して欲しい。</p> <p>次に居所不明の児童生徒がいる。また、個人ではなく突然、家族ごと不明になってしまうこともある。なかなか孤立した家庭に入り込めないとは言うものに入り込める立場の人もある。そういう視点を理念の中に入れながら青少年問題を考えていくべきかを感じる。</p>
委員	<p>青少年の貧困が増えている。また、30歳代から50歳代の親が正社員になれず、そのような不安定な環境の中、育っている子どもが多い。青少年の貧困は16.5%とも言われており、6人に1人が貧困を抱えている。そのような現状を踏まえ、今後の青少年の在り方について考えていく必要があると感じる。また、青少年の貧困が犯罪に繋がっていくことが危惧される。その防止策について、色々と考えているところである。</p>

委員	<p>現在、学生にも貧困による影響が出ている。経済的な理由により休学や退学を強いられることも見受けられ、背景には家庭が不安定であることが考えられる。今後、少しでも多くの安定した家庭が作られていくことが重要であると考えている。</p> <p>難しいことではあるが、例えば居所不明の家庭に光をあてる手立てなど、安定的な家庭を少しでも増やせるよう、今後の青少年健全育成の一端として盛り込めると良いと思う。</p>
委員	<p>最近では親がSNSについての知識を持たないまま、子どもに買い与えてしまうことがある。後に子どもがトラブルや事件に巻き込まれていくこともあるので、まずSNSについて、親が知識を持つことが大事である。</p> <p>次に、自分自身の親が忙しく、結果、他人の親にスキンシップを求める子どもが増えている。更には、色々な事情で小学生の内から傷ついている子どもも多く、地域で声かけをはじめ、ケアしていくことも重要と考える。</p> <p>また、学習の機会を与えるため、無料の学習支援が出来る環境も必要かなと感じている。</p>
委員	<p>日頃より地域の子供達の支援をしており、年度当初には大人向けの研修を行っている。その中で、「オアシス運動」を提言しており、「オ おはよう」「ア ありがとう」「シ 失礼します」「ス すみません」というように挨拶をしっかりと出来ることが大事であり、世代間での交流に繋がると感じている。</p> <p>また、体験をさせることが大事であり、例えば、環境美化活動に親が子どもに声をかけて一緒に参加するなど、大人が子どもと一緒に体験することが非常に重要である。</p>
委員	<p>犯罪をしてしまった子ども達を見ていると、どうしてもその個人というよりも家庭に問題があると感じている。良き大人のモデルというご意見があったが、大人は子どもと関わっていくために色々と勉強をする必要があり、感動を与えられるようになって欲しい。</p> <p>また、最近では善悪の基準が分からない子どもが見受けられるので、体験を通して成功や失敗を繰り返し、成長して欲しく、大人はそれを促し見守っていくことが大切と考えている。</p>

委員	<p>青少年の健全育成について、各資料で良く計画されていると感じる。P D C A サイクルを考えると、今後は、いかに実際に家庭や学校へ伝えていくかという点が重要と感じている。</p> <p>学校については、教員の方々の協力も必要であろうかと思う。</p> <p>いずれにしても、この計画が今後、市民の皆様がいかに気付かせるかという点で、議論できたらと感じている。</p>
委員	<p>最近の学生などは、自分の意見を発することに、とても躊躇しているように感じる。</p> <p>木と森に例えると、良い森を作っていこうということで、一本一本の木がどうなるのか、より良い森になるためにどうしたら良いのか。今後、この計画がより良い森になるよう一本一本の木を育てられたらと感じる。</p>
委員	<p>この計画の実践項目は良く出来ていると思うが、現場に戻り、具体的に教員やP T Aにどう伝えていこうかと考えている。</p> <p>なお、三つ葉の提言の実践項目の「学校や先生を地域社会で応援しよう」とあるが、この「応援しよう」が具体的にどのようなことなのか、より具体的に示されればなお良いと感じている。</p> <p>また、SNS問題については、確かに懸念の声が多く、例えば注意喚起について、保護者に対していかに、また直接伝えられるかを考えていく必要がある。</p>
委員	<p>本審議会で協議されたことが、どれだけ実践できるかが重要である。三つ葉の提言について、例えば学校・保育園・幼稚園に広められたらと感じる。</p> <p>また、孤立した家庭をどうするか、そして青少年がより健全に育つか、犯罪を防ぐ大きな手立てになると考えている。</p> <p>地域での支援は当然必要であり、子ども達に対する声かけは大切にしていけるべきと感じている。</p>
委員	<p>地域での見守り活動をしている。その中でコンビニや書店を巡り、万引き等の調査をしている。また、何か事例があればその結果を学校へ報告している。</p> <p>また、非行防止等のキャンペーン活動を行う中で、中学生のジュニア推進員と共に活動をし、家庭の日いわゆる作文発表会では、司会をしてもらうなど、体験を促している。</p>

委員	<p>これまで地域において、盆踊りなどの行事を通じて、小中学生のボランティアの子ども達がお手伝いに来てくれ、それがコミュニケーションとなっていた。しかし、昨今、アプリ系によるデジタルコミュニケーションに移行しており、トラブルなどがまとまりのつかないほど根深い問題になっていくかと思うと実感としてとても怖く思えてきた。</p>
委員	<p>最近は、青少年に携わる機会が少なく、また孫もまだ小さいため、本審議会を経て、色々と考えていきたい。</p>
委員	<p>SNSについては、家庭での約束事をしっかりと決めてから買い与えるのが良いと感じる。また最近は、中学校の部活動の連絡網がLINEでのやりとりになっていることも耳にしている。</p> <p>その他、最近の小学生は、携帯型ゲーム機に頼ることが多く、集まっても囲んでゲームをしているような状況であり、もっと公園等で体を使った遊びをすることが大事であると感じている。</p>
委員	<p>活動として、地区ごとで情報交換会を行っている。学校との情報交換では、地域で子ども達がどのようなことをしているかなどを学校側へ伝え、青少年の健全育成に繋げている。また、小中学校での行事に積極的に参加し、交流を深めており、地域での支援を行っている。</p> <p>また、生活困窮世帯と思われる家庭については、社会福祉協議会の窓口につなぐようにしている。</p>
委員	<p>育児を経て、父親は大きな視点で、そして細かいところでのフォローなどは、母親の役割が大きいと感じている。また、家庭の在り方について、問題のある家庭、例えば厳しさがゆえに親から意見を押し付けられて生活している子どもについて、他の家庭の大人のフォローも重要と感じてきた。</p> <p>また、実践項目で学校や先生を応援しようとするが、これについても今後、考えていきたいと感じている。</p>
委員	<p>下校時の見守り隊について、登校時のほか低学年の下校時に立哨し、また時間を挟んで高学年の下校時に立哨し、そして子ども達に声をかけ、またかけられて、本当に色々な意味での予防になっている。見守り隊の方々の意欲向上のためにも</p>

委員	<p>激励のような機会があればとも思い、またそれが更に子ども達の健全な育成に繋がっていくと感じている。</p> <p>青少年の健全な育成について、地域での見守ってくれる大人も減ってきており、やはり家庭が一番大事であると実感している。最近は、意外な時間、場所でSNSやゲームなどを楽しむ大人もあり、やはり大人社会の反映が子ども達に影響をしているのかなと感じている。</p> <p>現在、学校では「開かれた学校づくり」を目指しており、地域との交流を意識している。また、教育として、子ども達がいかに物事に関心を持ち、主体的に学ぼうとする意欲が沸くかなどを検討している。</p> <p>また、先程、見守り隊の話があり、子ども達は守られていることの反面、休日の自転車事故が増えており、危険回避が出来る子ども達になって欲しいとも感じている。</p>
議長	<p>本日の審議会において、本協議会の提言を「PDCAサイクル」に基づき、今後実際に周知していく行動について、また貧困を含めた家庭への支援、そしてSNS問題が多く意見として出された。</p> <p>特に、前委員さんの皆さんが計画したこの提言を踏まえ、より具体的な行動内容について、現在の委員の皆さんと考えていきたいと思う。</p> <p>本日も様々のご意見をいただいた。本審議会は臨機応変に対応できることから、次回も委員の皆さんから活発な意見をいただきたい。以上で議事を終了とする。</p>
事務局	<p>審議いただいた『優良青少年及び健全育成功労表彰』については、7月10日（金）午後1時からミューズを会場に開催される社会福祉大会で行う予定である。</p> <p>平成27年度第2回所沢市青少年問題協議会は平成28年2月に予定している。その折には改めて通知するため、出席をお願いしたい。</p> <p>以上をもって、平成27年度第1回所沢市青少年問題協議会を終了した。</p>